

出 水 市
事務事業評価報告書

平成28年10月

出水市行政評価市民委員会

目次

はじめに	・・・	1
1 事務事業評価の実施手順	・・・	2
(1) 目的	・・・	2
(2) 評価対象事業	・・・	2
(3) 評価の進め方	・・・	2
(4) 評価者	・・・	2
(5) 委員会の開催経過	・・・	2
(6) 評価結果の取扱い	・・・	2
2 委員会総括	・・・	3
3 評価結果一覧	・・・	4
4 今後の方向性の考え方	・・・	4
5 実施計画・事務事業評価シート	・・・	5
(1) 出水ツルマラソン大会実行委員会負担金（産業振興政策課）	・	5
(2) 地域コミュニティ協議会発足支援事業（総務課）	・・・	6
(3) 中央図書館駐車場等環境整備事業（読書推進課）	・・・	7
(4) 総合固定資産管理システム等航空写真更新負担金（税務課）	・・・	8
(5) はり・きゅう施術料補助事業（市民生活課）	・・・	9
(6) 後期高齢者はり・きゅう施術料補助事業（市民生活課）	・・・	10
(7) 市政モニター設置事業（総合政策課）	・・・	11
(8) 敬老の日行事・長寿祝金支給事業（祝金）（いきいき長寿課）	・・・	12
(9) 敬老バス乗車券交付事業（いきいき長寿課）	・・・	13
(10) 一次予防対象者給食サービス事業（いきいき長寿課）	・・・	14

はじめに

人口減少や少子高齢化の進行など、社会経済情勢の変化を背景とした厳しい財政状況の中、行政に対する市民の視点はより多様化・高度化してきており、加えて地方分権の流れの中で、市民と行政がともに考え、ともに取り組む「共生・協働のまちづくり」が求められている。

このような中、平成24年度に「出水市行政評価市民委員会」が設置され、市が行う事務事業について、市民の視点により検証・評価がなされる仕組みがつくられたことは、非常に大きな意義がある。

本報告書は、事務事業の在り方に対する市民の意見として、評価結果等を取りまとめたものである。

出水市においては、評価結果や評価の際に委員から出された様々な意見や指摘について、真摯に受け止めていただき、次年度予算編成への反映はもとより、事務事業の在り方等を見直す際の積極的活用や、市民ニーズに沿った事務事業の展開など、今後の市政運営に広く生かされることを望むものである。

1 事務事業評価の実施手順

(1) 目的

事務事業評価は、限られた資源（ヒト・モノ・カネ）を効率的・効果的に配分することを目的に実施するもので、市民目線による評価を行うことにより、行政評価の客観性及び透明性を高め、公平・公正な行政サービスを推進するものである。

(2) 評価対象事業

平成28年度において実施している事業で、平成29年度も引き続き実施予定の事業や、平成29年度から新たに実施予定の事業を評価対象事業とし、今年度、二次評価を実施した17事務事業の中から、市が選定した2事務事業及び当委員会で選定した8事務事業の、合計10事務事業について評価を実施した。

(3) 評価の進め方

ア 事務事業の説明

各所管課長において、事務事業評価シートに基づいて事務事業の概要説明

イ 質疑応答

事務事業についての質疑応答

ウ 方向性等を決定

今後の方向性を決定する。また、委員長が意見を取りまとめて、方向性決定の理由や附帯意見を記録する。

(4) 評価者

行政評価市民委員会委員の6人で評価を実施した。

(5) 委員会の開催経過

会議	開催日	会議内容
第1回行政評価市民委員会	平成28年9月21日	本市の財政状況等の説明 行政評価制度の説明 各事務事業の概要説明
第2回行政評価市民委員会	10月11日	市が選定した2事務事業の評価 委員会が選定した8事務事業の評価
第3回行政評価市民委員会	10月18日	前年度評価事業の取組報告
第4回行政評価市民委員会	10月25日	報告書の作成、まとめ

(6) 評価結果の取扱い

当委員会での評価結果は、市長に報告することとする。

2 委員会総括

行政評価市民委員会の評価に当たっては、予算を削減するための視点だけではなく、事務事業が市民ニーズに沿っているかという観点から、①対象・手段の妥当性や市で実施する必要性、②事業費・人件費の削減余地や歳入確保の工夫、③成果の達成度・向上の余地といった視点に立って評価を行った。

平成24年度から市民委員会が開催され今回で6年目になるが、評価を行うに当たって、資料が不足しているもの、数値の正確性に問題があるもの、チェックが不十分なものなどが見受けられたことから、実施計画・事務事業評価シートへの記載方法等について、改めて周知徹底を図るとともに、職員の事務事業評価制度に対する認識を高める必要がある。

また、前年度事務事業の実績把握や結果分析等を行うことなく、翌年度継続事業として漫然と取り組んでいるケースが見受けられるなどPDCAサイクルが機能しているとは言い難く、今後においては、PDCAサイクルを確実に展開させながら業務を遂行していくことも職員全員に周知徹底を図る必要がある。

なお、市の歳入の約4割を占める普通交付税は、合併に伴う優遇措置が今年度から徐々に縮減し、廃止されることから、将来的な財政事情は大変厳しいことが予想され、これからは、真に必要とされる事務事業を取捨選択していくことが求められるであろう。行政サービスを低下させずに、新たな行政課題に対応していくためにも、職員一人ひとりの意識改革及び資質向上を図り、市民ニーズに沿った積極的な事務事業の推進が必要である。

今後においては、市民委員会の外部評価と行政自らの内部評価が相俟って、予算編成や事務事業の見直しに反映され、効果的で効率的な行財政運営と市政発展につながることを期待する。

3 評価結果一覧

番号	事務事業名	所管課	評価結果
1	出水ツルマラソン大会実行委員会負担金	産業振興政策課	改善して継続
2	地域コミュニティ協議会発足支援事業	総務課	改善して継続
3	中央図書館駐車場等環境整備事業	読書推進課	事業内容等を再検討する
4	総合固定資産管理システム等航空写真更新負担金	税務課	実施する
5	はり・きゅう施術料補助事業	市民生活課	改善して継続
6	後期高齢者はり・きゅう施術料補助事業	市民生活課	改善して継続
7	市政モニター設置事業	総合政策課	改善して継続
8	敬老の日行事・長寿祝金支給事業（祝金）	いきいき長寿課	改善して継続
9	敬老バス乗車券交付事業	いきいき長寿課	改善して継続
10	一次予防対象者給食サービス事業	いきいき長寿課	現行のまま継続

4 今後の方向性の考え方

今後の方向性 （総合評価）	方向性の考え方
拡大	対象、手段、意図の拡大
現行のまま継続	現行のまま継続
改善して継続	事務事業の成果向上を図るために、手段（やり方）の見直しを行うことや、成果を下げずに事業費を削減すること。 また、受益者の負担水準・受益機会の適正化を図ることなど。
統合	他の事務事業との統合
縮小	対象、手段、意図の縮小
廃止・休止	事務事業の廃止・休止

平成28年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	産業振興部	課等名	産業振興政策課	記入者名	西村 陽一	内線	391		
事務事業名	出水ツルマラソン大会実行委員会負担金		事業期間	昭和 63 年度 ~ 平成 年度					
総合計画上の位置付け	基本方針	恵まれた地域資源を生かした多様な産業が躍進するまちづくり							
	施策	観光の振興							
	細施策	観光資源の活用							
根拠法令・条例、関連計画等									
予算細々目名				会計	款	項	目	細目	細々目
体育振興費（スポーツ交流促進事業）				01	10	07	03	001	2

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

<ul style="list-style-type: none"> ・「ツルの里 出水」を市内外にアピールするため、マラソン大会を開催し、地域の活性化と出水のイメージアップを図る。 ・マラソンを通じて、市民のスポーツに対する意識の高揚と、体力の維持・増進に寄与する。
--

3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
出水ツルマラソン大会 負担金 6,000,000円 平成27年10月18日開催 申込者数 3,105人 参加者数 2,763人	出水ツルマラソン大会 負担金 6,000,000円 平成28年10月23日開催予定 申込者数 約3,200人目標	H28年度事業の継続	H29年度事業の継続

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
ツルマラソン大会参加者	出水ツルマラソン大会実行委員会が主催し、出水市陸上競技協会が主管して、フルマラソン、3km、10kmの年齢別32種目の参加者を募集を行い、市民もボランティアでもてなす。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
<ul style="list-style-type: none"> ・本市の一大イベントであるツルマラソンで全国に本市をPRするとともに、地域ボランティアやスタッフが一体となって歓迎することにより、大会を盛り上げる。 ・市民だけでなく県内外より参加者を増やし、人口交流の拡充を図る。 	

5 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	人口交流の拡充や地域の活性化を図るため、今後も継続して実施するが、参加者が増加すれば交通渋滞や駐車場の確保等、新たな課題への対策も必要である。 また、平成26年度より市負担金と参加料を見直したが、消費税10%への対応やサービス向上を図るためにも、参加料の見直しが必要と思われる。

6 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	西回り自動車道をはじめ高速交通基盤の整備が進んでおり、交流人口の拡充に特化した事業へと改善する時期にきているため、種目や参加料等の見直しを検討し、大会の充実を図ること。

7 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	交流人口の拡大に向けて、財源の確保により力を注ぎ、大会の充実を図ること。なお、将来的には事業運営主体を民間で実施できるよう検討していくこと。

平成28年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	政策経営部	課等名	総務課コミュニティ推進室	記入者名	池田 幸弘	内線	203
事務事業名	地域コミュニティ協議会発足支援事業		事業期間	平成 26 年度 ~ 平成 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	歴史と文化の薫りが暮らしを彩る教育と住民自治のまちづくり					
	施策	コミュニティ活動の充実					
	細施策	コミュニティ組織の支援・充実					
根拠法令・条例、関連計画等	出水市地区コミュニティ協議会育成支援事業補助金交付要綱						
予算細々目名	会計	款	項	目	細目	細々目	
自治会活動費（地域コミュニティ支援事業）	01	02	01	10	13	01	

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

自治会等地域コミュニティの充実・強化を図り、住民と行政との共生・協働のまちづくりの実現に資する。
--

3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
【市の直接払】 ○米ノ津東地区 1, 749, 142円 人件費(2人) 1,331,149円 費用弁償 17,600円 光熱水費、消耗品費等 259,127円 通信運搬費 141,266円	【補助金交付】 ○運営補助金（1地区） 米ノ津東地区3326世帯 1, 891, 100円 均等割 600,000円 世帯規模割332,600円 人件費 958,500円 ○設立準備補助金（1地区） 大川内地区 200,000円	【補助金交付】 ○運営補助金（2地区） ①米ノ津東地区 1, 891, 100円 ②大川内地区 1, 731, 000円 ○設立準備補助金（1地区） 200,000円	【補助金交付】 ○運営補助金（3地区） ①米ノ津東地区 1, 891, 100円 ②大川内地区 1, 731, 000円 ③未定 1, 807, 000円 ○設立準備補助金 (1地区) 200,000円

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
地区コミュニティ協議会及び設立準備委員会	地区住民が自主性及び主体性に基づき地域の身近な課題解決に向けた取組みを行う組織を立上げるための活動や組織立上げ後の運営に関し、予算の範囲内で補助金を交付する。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
人口減少に伴い単独では活動が困難となっている自治会を、地区コミュニティ協議会の設置により補完することで自治会活動の持続が図られるほか、地区内活動等をマネジメントすることで地区活動の持続も図られる。	

5 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	推進体制及び地区コミュニティへの補助制度がスタートしたばかりであるため。

6 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	一次評価と同様に現行のまま継続とする。

7 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	推進ビジョン等の策定及び推進委員会等の第三者機関の設置など推進体制の整備・構築を急ぎ、出水市固有の地域コミュニティ協議会制度の創設を目指してほしい。

平成28年度 実施計画・事務事業評価（事前評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	教育部	課等名	読書推進課	記入者名	園島 祐一	内線	340
事務事業名	中央図書館駐車場等環境整備事業		事業期間	平成 29 年度 ~ 平成 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	歴史と文化の薫りが暮らしを彩る教育と住民自治のまちづくり					
	施策	生涯学習の推進					
	細施策	読書活動の推進					
根拠法令・条例、関連計画等		高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（努力義務）					
予算細々目名			会計	款	項	目	細目
図書館維持補修費			01	10	06	06	001

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

出水中央図書館の駐車場等を整備することにより、来館される市民等の駐車場不足の解消を図る。また、障害者用駐車場を玄関近くに設置することにより、高齢者・障害者等の利便性を高める。
（中央図書館の既存駐車場枠数：24台分）

3 事務事業の概要

H29年度の事業計画	H30年度の事業計画	H31年度以降の事業計画
駐車場の増設（7台）		

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
市民等（図書館利用者）	駐車場の増設
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
駐車場不足の解消、高齢者・障害者等の利便性の確保を行う。	

5 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input checked="" type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を改善し実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を再検討する <input type="checkbox"/> 実施しない	駐車場不足の解消、障害者等用駐車場の再配置により利便性が改善されるため実施する。

6 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を改善し実施する <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容等を再検討する <input type="checkbox"/> 実施しない	本計画では駐車場7台のみの増設であり、駐車場不足の解消にまで効果があるか疑問である。混雑時の駐車場不足台数を調査し、障害者駐車場の設置台数や既存駐車場の整備、今後の図書館機能のあり方など総合的に再検討した上で、事業内容を見直すこと。

7 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を改善し実施する <input checked="" type="checkbox"/> 事業内容等を再検討する <input type="checkbox"/> 実施しない	費用の問題、景観の問題、高齢者・障害者に特化した駐車場の整備、隣接する民有地の賃貸などを考慮しながら事業内容等を再検討すること。

平成28年度 実施計画・事務事業評価（事前評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	市民福祉部	課等名	税務課	記入者名	柴田 敏文	内線	117
事務事業名	総合固定資産管理システム等航空写真更新負担金		事業期間	平成 29 年度 ~ 平成 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	健全で効率的な行政財政運営を推進するまちづくり					
	施策	健全な財政運営の確保					
	細施策	財源の確保					
根拠法令・条例、関連計画等		地方税法、出水市税条例					
予算細々目名				会計	款	項	目
税務一般管理費				01	02	02	01

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

固定資産税の課税のためには、土地・家屋の毎年1月1日（賦課期日）時点における現況を把握し、それに基づき土地の課税地目、家屋の新增築・解体等により課税することになる。そのためには、現地調査が必要となるが、現在の人員では、全てを把握することは困難であり、期間的にも逼迫した状況であるため、航空写真での把握が、よりの確で有効な手段であり、公平・公正な課税につながる。

また、庁内他課においても、様々な事業で航空写真を活用できる。
 （現在、水道管路情報システム、農地地図情報システム、森林情報管理システム、農家台帳システム、都市計画区域見直しのための土地利用現況確認、その他で活用）

3 事務事業の概要

H29年度の事業計画	H30年度の事業計画	H31年度以降の事業計画
航空写真等更新負担金 ・鹿児島県土地改良事業団体連合会の【水土里ネット】による、複数市町村での航空写真共同撮影（オルソ画像共同更新事業）に参画し、その成果品受領後、鹿児島県土地改良事業団体連合会に負担金を支払う。	最新の航空写真を利用したのの評価替え	平成33年度評価替えに向けた航空写真等更新作業準備

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
出水市内に固定資産を所有する市民・法人	航空写真を利用して、土地の地目認定、家屋の新增築・解体状況を把握し、公平・公正な課税に努める。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
より正確な土地課税地目の把握と家屋の新增築・解体の把握により、公平・公正な課税を行う。	

5 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input checked="" type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を改善し実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を再検討する <input type="checkbox"/> 実施しない	前回撮影から3年が経過しており、現状と合致しない面が多く、土地・家屋の現状把握が困難なため、最新の航空写真が必要である。

6 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input checked="" type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を改善し実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を再検討する <input type="checkbox"/> 実施しない	航空写真については、土地家屋調査のみならず、庁内の様々な事業に活用されており、必要不可欠な事業になってきている。今後においても、固定資産の評価替え基準年度である3年ごとに実施することとする。

7 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input checked="" type="checkbox"/> 実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を改善し実施する <input type="checkbox"/> 事業内容等を再検討する <input type="checkbox"/> 実施しない	二次評価と同様に実施とするが、航空写真の撮影枚数を慎重に検討し、コスト面については常に検証すること。 なお、航空写真での現地確認について、市民へ周知徹底し、市民からの自主的な申告を促す取り組みも必要である。

平成28年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート【特別会計用】

実施計画

1 基本事項

部等名	市民福祉部	課等名	市民生活課	記入者名	餅原 秀夫	内線	145	
事務事業名	はり、きゅう施術料補助事業		事業期間	平成	年度	～	平成	年度
総合計画上の位置付け	基本方針	思いやりと温かさがはぐくむ健康・福祉のまちづくり						
	施策	医療保険と年金の充実						
	細施策	国民健康保険事業の充実						
根拠法令・条例、関連計画等		出水市国民健康保険はり、きゅう施術料の助成に関する規則						
予算細々目名			会計	款	項	目	細目	細々目
はり、きゅう施術料補助事業費			02	08	01	01	002	01

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

国民健康保険被保険者の健康保持増進を図る。

3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
はり・きゅうの施術を受けた被保険者に対し補助金を交付する。 1 対象者 国民健康保険被保険者 2 補助金額 1回の施術につき 700円 3 補助の限度 1年度当たり 40回以内	同左	はり・きゅうの施術を受けた被保険者に対し補助金を交付する。 1 対象者 国民健康保険被保険者 2 補助金額 1回の施術につき 700円 3 補助の限度 1年度当たり 50回以内	同左

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
出水市国民健康保険被保険者	はり・きゅうの施術を受けた者に対し、補助金を交付する。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
被保険者の健康保持増進を図る。	

5 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	被保険者の更なる健康保持増進が図られるよう、現行40回の補助回数を50回に拡大していきたい。

6 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	限度回数まで利用する者は少数であることから、回数の拡大ではなく、補助単価の増額など、より利用増進が図られる政策になるような検討を行うこと。

7 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	限度回数や補助単価の見直しに加え、他の政策も含めた中で健康保持増進という総合的な観点からも検討を行うこと。

平成28年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	市民福祉部	課等名	市民生活課	記入者名	餅原 秀夫	内線	145
事務事業名	後期高齢者はり・きゅう施術料助成事業		事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	思いやりと温かさがはぐくむ健康・福祉のまちづくり					
	施策	健康づくり対策の充実					
	細施策	健康づくり支援のための体制整備					
根拠法令・条例、関連計画等	出水市後期高齢者はり・きゅう施術料の助成に関する規則						
予算細々目名	会計	款	項	目	細目	細々目	
後期高齢者はり・きゅう施術料助成事業費	01	03	02	01	050	01	

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

後期高齢者医療被保険者の健康保持と福祉の増進を図る。

3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
<p>はり・きゅうの施術を受けた高齢者に対し、補助金を交付する。</p> <p>1 対象者 本市に住所を有する後期高齢者医療被保険者</p> <p>2 補助金額 1回の施術につき 700円</p> <p>3 補助の限度 1年度当たり40回以内</p>	同左	<p>はり・きゅうの施術を受けた高齢者に対し、補助金を交付する。</p> <p>1 対象者 本市に住所を有する後期高齢者医療被保険者</p> <p>2 補助金額 1回の施術につき 700円</p> <p>3 補助の限度 1年度当たり50回以内</p>	同左

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
出水市後期高齢者医療被保険者	はり・きゅうの施術を受けた者に対し、補助金を交付する。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
高齢者の健康保持と福祉の増進を図る。	

5 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	高齢者の更なる健康保持と福祉の増進が図られるよう、現行40回の補助回数を50回に拡大していきたい。

6 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	限度回数まで利用する者は少数であることから、回数の拡大ではなく、補助単価の増額など、より利用増進が図られる政策になるような検討を行うこと。

7 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	限度回数や補助単価の見直しに加え、他の政策も含めた中で健康保持増進という総合的な観点からも検討を行うこと。

平成28年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	政策経営部	課等名	総合政策課	記入者名	松岡 秀和	内線	227	
事務事業名	市政モニター設置事業		事業期間	平成	年度	～	平成	年度
総合計画上の位置付け	基本方針	住民と行政が協働するまちづくり						
	施策	住民参画の推進						
	細施策	公聴機能の充実						
根拠法令・条例、関連計画等	出水市市政モニター設置要綱							
予算細々目名		会計	款	項	目	細目	細々目	
	公聴業務費	01	02	01	02	003	01	

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

よりよい市政を推進するため、地域における市政の浸透状況及び問題点の所在を常時把握収集し、併せて市民の声を市政に反映することを目的としている。

3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
市政モニター14人委嘱 モニター通信数 36件	市政モニター12人委嘱 モニター通信数 30件	—	—

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
市政	市政モニター通信を通じて市政全般に対する提言、地域問題の実情の把握及び市政に対する相談照会等を行う。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
地域における浸透状況や問題の把握、市民の声を反映させる。	

5 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	市政モニターの通信内容が「市長への手紙」と類似していることから、市長への手紙に統合して問題ないと考えられる。また、市民アンケートは必要に応じて随時実施していることから、市政モニター制度を利用する必要性は低い。

6 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	一次評価と同様に統合とする。

7 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	本事業は、政策の反応を見るなど「市長への手紙」とは性質が異なると思われるため、本事業の活用方法について再度検討し、市政モニター数を増やすなど、幅広い意見集約に努めるべきである。

平成28年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	市民福祉部	課等名	いきいき長寿課	記入者名	外園 俊美	内線	158
事務事業名	敬老の日行事・長寿祝金支給事業（祝金）		事業期間	平成 18 年度 ～ 平成 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	思いやりと温かさがはぐくむ健康・福祉のまちづくり					
	施策	高齢者福祉の充実					
	細施策	安心と安らぎある体制づくり					
根拠法令・条例、関連計画等	出水市長寿祝金支給条例、出水市高齢者福祉計画・介護保険事業計画						
予算細々目名				会計	款	項	目
敬老の日行事・長寿祝金支給事業費（祝金）				1	3	2	1

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

高齢者のこれまでの社会貢献に敬意を表し、長寿を祝福するための祝金を贈り、福祉の増進を図る。

3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
90歳到達者 266人 7,980千円 95歳到達者 93人 4,650千円 100歳以上 53人 5,300千円 ※90歳30千円、95歳50千円、100歳以上100千円	90歳到達者 283人 8,490千円 95歳到達者 95人 4,750千円 100歳以上 58人 5,800千円	90歳 293人 8,790千円 95歳 97人 4,850千円 100歳 25人 2,500千円 101歳以上 43人 4,300千円 ※100歳以上100千円としていたものを100歳100千円、105歳200千円、110歳300千円とする。（これまでの最高齢者は107歳）ただし、平成28年度までの100歳到達者については従来のとおり ※別紙資料（左側）	90歳 305人 9,150千円 95歳 105人 5,250千円 100歳 19人 1,900千円 102歳以上 35人 3,500千円 ※別紙資料（右側）

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
当該年度に90歳若しくは95歳に到達する者並びに100歳以上の者	祝金を贈呈する。（90歳及び95歳の者には民生委員を通じ、100歳以上の者には市長訪問により交付）
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
長寿を祝い、これまでの社会貢献を称えることにより、高齢者全体の生きがいにつなげる。	

5 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	100歳以上の支給対象を100歳、105歳、110歳の5歳ごとの節目年齢の者とし、支給金額についても年齢に応じたものに変更することとしたい。（平成29年度中に新たに100歳に到達する者から適用し、経過措置とする。）

6 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	一次評価と同様に改善して継続とするが、105歳及び110歳の支給金額については再度検討すること。

7 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	祝金の支給にこだわらず、出水市内共通商品券など記念品の交付へ変更するなど祝のあり方自体を再検討の上、継続してほしい。 なお、100歳以上の支給対象については現状が望ましい。

平成28年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	市民福祉部	課等名	いきいき長寿課	記入者名	外園 俊美	内線	158
事務事業名	敬老バス乗車券交付事業		事業期間	平成 3 年度 ~ 平成 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	思いやりと温かさがはぐくむ健康・福祉のまちづくり					
	施策	高齢者福祉の充実					
	細施策	安心と安らぎある体制づくり					
根拠法令・条例、関連計画等	出水市敬老バス乗車券交付要綱						
予算細々目名		会計	款	項	目	細目	細々目
	敬老バス乗車券交付事業費	1	3	2	1	14	1

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

高齢者福祉の増進を図るため、出水市に住所を有する70歳以上の方に対して、敬老バス乗車券の交付を行う。

3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
交付件数 412件 助成金額 1,197千円	交付件数 520件 助成金額 1,550千円	H28年度事業の継続	H29年度事業の継続

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
70歳以上の高齢者	バス乗車券を1人当たり年間6,000円分を限度として、額面の2分の1で交付する。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
交通弱者である高齢者に対し、バスによる移動支援を行うことで、福祉の増進を図る。	

5 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	高齢者の移動手段の確保のために継続するが、その他の移動手段について方法がないかを今後検討していきたい。

6 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	一次評価と同様に現行のまま継続とするが、利用実態を調査・検証し、見直しできるものについては見直すこと。

7 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	本事業は、市が利用実績を把握できない仕組みとなっており、事業効果の検証が困難である。市独自のバス乗車券を作成するなど利用実績が把握できるよう根本的な改善が必要である。 なお、将来的にはタクシー券交付事業への移行を検討してほしい。

平成28年度 実施計画・事務事業評価（事後評価）シート【特別会計用】

実施計画

1 基本事項

部等名	市民福祉部	課等名	いきいき長寿課	記入者名	外園 俊美	内線	158
事務事業名	一次予防対象者給食サービス事業		事業期間	平成	年度	～ 平成	年度
総合計画上の位置付け	基本方針	思いやりと温かさがはぐくむ健康・福祉のまちづくり					
	施策	高齢者福祉の充実					
	細施策	安心と安らぎあるの体制づくり					
根拠法令・条例、関連計画等		出水市給食サービス事業実施要綱					
予算細々目名				会計	款	項	目
一次予防対象者給食サービス事業費				6	4	2	5

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

在宅の虚弱な高齢者等の居宅に訪問し、食事の配食を行い、高齢者等の食生活を改善し、健康で自立した生活を営めるよう支援を図る。

3 事務事業の概要

H27年度の事業概要	H28年度の事業概要・計画	H29年度の事業計画	H30年度の事業計画
利用者数 161人 配食数 35,487食 委託料単価 417円/食	利用者数 164人 配食数 36,783食 委託料単価 300円/食	H28年度事業の継続	H29年度事業の継続

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
在宅の虚弱な高齢者又は身体障害者手帳等を所持する者であって、調理等が困難なもの	・居宅に配食を行う。 ・配食の際に安否確認を行う。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
・食生活の改善を図る。 ・安否確認において異常があれば、関係機関への連絡等必要な措置を講ずる。	

5 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	食の提供と安否確認のための取組としてサービス需要が高い事業である。また、平成28年度から民間委託による事業を開始したところでもあることから、継続して事業を実施していきたい。

6 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	一次評価と同様に現行のまま継続とする。

7 今後の方向性、改善案等（行政評価市民委員会）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	現行のまま継続とするが、利用料金の軽減など更なるサービス向上を目指すために、利用可能な対象者数などの基礎データの管理・収集に努めること。